

## 今後の経済財政運営及び経済社会の構造改革に関する 基本方針（案）〔農林水産関係抜粋〕

新世紀維新が目指すもの - 日本経済の再生シナリオ

### 2．構造改革のための7つの改革プログラム

（豊かな生活とセーフティネットを充実するために）

#### （5）生活維新プログラム

人々が自らのライフスタイルに合わせ、男女が共同して社会に参画し、将来にわたってのびのびと働き生活できる基盤を整備する。

（ ）国民に安全（人の生命、健康に関わる良質な環境や水と食料などの確保を図るヒューマン・セキュリティ、安全な国土）と治安を確保し、安心して暮らせる社会を保障する。

（政府機能を強化し、役割分担を抜本的に見直すために）

#### （6）地方自立・活性化プログラム

（地域に密着した産業の活性化等）

意欲と能力のある経営体に施策を集中することなどにより、食料自給率の向上等に向け、農林水産業の構造改革を推進する。また、地方の活性化のために、都市と農山漁村の共生と対流、観光交流、おいしい水、きれいな空気に囲まれた豊かな生活空間の確保を通じ「美しい日本」の維持、創造を図ることが重要である。

## 第1章 構造改革と経済の活性化

## 第2章 新世紀型の社会資本整備 - 効果と効率の追求

### 2．硬直性の打破

#### （3）ハードからソフトへの政策手段の転換

政策目的に照らし、公共事業（ハード）以外のより適切な政策対応（ソフト＝例えば、民間主導で生産性を向上させるた

めの制度の整備など)がないか事前に十分審査する必要がある。例えば、農業については、食料の安定供給、自然環境の保全等を目指した構造改革が喫緊の課題となっている。こうした農業政策の目的に照らし、費用対効果の観点を踏まえ、公共事業から公共事業以外の政策手段へシフトしていくことが必要である。

#### 4. 重点的に推進すべき分野

循環型経済社会の構築など環境問題への対応

バリアフリーなど高齢化への対応

地方の個性ある活性化、まちづくり

都市の再生 - 都市の魅力と国際競争力

科学技術の振興

人材育成、教育

第3章 社会保障制度改革 - 国民の安心と生活の安定を支える

第4章 個性ある地方の競争 - 自立した国・地方関係の確立

第5章 経済財政の中期見通しと政策プロセスの改革

第6章 平成14年度経済財政運営の基本的考え方

#### 2. 平成14年度予算

##### (3) 重点的に推進すべき分野

上記の各章及び「7つの改革プログラム」を踏まえ、以下に掲げる分野で、政策効果が顕著なものについて、重点的に推進する。

循環型経済社会の構築など環境問題への対応

少子・高齢化への対応

地方の個性ある活性化、まちづくり

都市の再生 - 都市の魅力と国際競争力

科学技術の振興(ライフサイエンス等の4分野への重点化等)

人材育成、教育

世界最先端のIT国家の実現